



行發日三十月二

鐘紡工場誘致所 感 四

平商工會 阿部 政右衛門

仄聞すれば之の問題に就 今度の鐘紡問題に就ては 郡山地方は平町に劣ら 平商工會の代表として猪狩 ね否平町以上の猛運動を 猪狩氏が参加上京した事は 承知の通り福島縣は海 承知の通り福島縣は海 承知の通り福島縣は海...

潮聲 赤羽松堂選

武門

冬の月するとし海は荒 雪の微々明るき湖や香 木の質獨樂はつたらか して争へり 大浪のかぶる巖や鳴く 千鳥 石城 沙木焚く夕霞風やむれ 千鳥 小春風く軒や窓の籠ゆ...

警城歌壇推薦歌

六首 萩原 たけ

○ふかふかとがづきてい 響のこの身ゆる寒行の 音に心寄るる ○ひと筋に佛につかふる 寒行を 羨しく居りぬ 聴きまじしつ ○動終へて月を背にし 降りゆく 稚き沙彌の袴 もと白し ○鈴振ればその鈴の音の ゆかたに 久遠の幸 はこもり居るらし ○たけ長くみ僧の影の地に 凍てて 星かげ寒く 更けぬこの夜は ○さらさらの月の 照てつくこの夜さも うら安 からむ動行する身は

寒國の父へ

一年 本田 サダ

お父様お陰なく職務にお 井戸ではなくなりまし 心下さいませ 私部の側の櫻も今は 木だけがよんばり立つて 居ます。それから玄關の前 のつるうめども赤い色は 此の前のおたよりには大

△始めて釋典の禮を 板垣の周圍をヤモリのやう 行ふ(大賀元)△聯盟 十九ヶ國委員會報告 案を可決昭和八△南洋 案を可決昭和八△南洋...

戸隠山の怪秘 奇譚 九山 貞雄作 眞木 浪齋 (108) 追分走馬燈(九) 怪しい影は誰の丞であつ



戸隠山の怪秘 奇譚 九山 貞雄作 眞木 浪齋 (108) 追分走馬燈(九) 怪しい影は誰の丞であつ 追分走馬燈(九) 怪しい影は誰の丞であつ...

圖畫入賞兒

第二校成績

- 平第二校では第一回圖畫習 作コンクールを去る二日、 九日の二回に亘り評中圖書 科擔任近藤廣氏批評審査...

平七郎は緊張した熱気が 身体中に漲つた、思はず袴 の股立ちを固く掴んで立止...

久野電気 工業所 大和田醫院 日東商會 堀藥局 聾聵學校 各種電機器具修理 久野電気工業所 大和田醫院 日東商會 堀藥局 聾聵學校...

耳鼻咽喉科專門 山内醫院 郡山腦病院 警城家庭婦人會 鈴木醫院 耳鼻咽喉科專門 山内醫院 郡山腦病院 警城家庭婦人會...

